

## 2段階選抜を予告している大学・学部はここだ！ 名古屋大-医(医)の前期で廃止、長崎大-歯の後期で新規実施

旺文社 教育情報センター 2020年1月

2020年(以下、20年。他年度も同様)の国公立大一般入試で、2段階選抜の実施を予告している大学・学部等の一覧を紹介する。せっかく出願しても、センター試験(以下、セ試)の得点が足りないばかりに、個別試験(2次)を受けられない無念は避けたいもの。事前に予告倍率や前年の実施状況などをチェックしよう。

### ◆滋賀医科大 - 医(医・看護)で予告倍率を引き締め、大阪大 - 医(医)で緩和！

「2段階選抜」とは、所定の志願倍率(志願者数÷募集人員)を超えた大学・学部等が、セ試の成績によって第1段階選抜を行い、その合格者のみ2次試験を受けられる仕組み。難関大学や医学科などの志望者に立ちはだかる最初の関門だ。

文部科学省発表の「国公立大学入学者選抜の概要」によると、20年に2段階選抜の実施を予告している大学・学部等は**66大学170学部等**で、19年に比べ1大学2学部等増えた。各大学の「入学者選抜要項」をもとに、実施を予告した大学・学部等と予告倍率の一覧表を掲載したので、参考にしてほしい。

**【新規実施】**東北大 - 経済で新規実施する「理系入試」では、前・後期とも2段階選抜の実施を予告。また、長崎大 - 歯の後期、公立千歳科学技術大 - 理工<注>の中期で新規実施する(表中、新規実施は「★」で表示)。

<注>19年4月に「私立→公立」に移行し、20年入試から前期・中期で実施。

**【予告倍率引き締め】**金沢大 - 医学類、滋賀医科大 - 医(医・看護)、九州大 - 医(医)、福島県立医科大 - 医の前期で、予告倍率を引き締める(=第1段階合格者を絞り込む)。

**【予告倍率の緩和】**山形大 - 医(医)、大阪大 - 医(医)の前期と、秋田大 - 医(医)、琉球大 - 医(医)の後期で、予告倍率を緩和する(=第1段階合格者を増やす)。

**【取り止め】**名古屋大 - 医(医)の前期、茨城県立医療大 - 保健医療の前・後期で廃止する。

### ◆予告学部のうち、実際に行うのは「前期2～3割、中・後期3～4割」

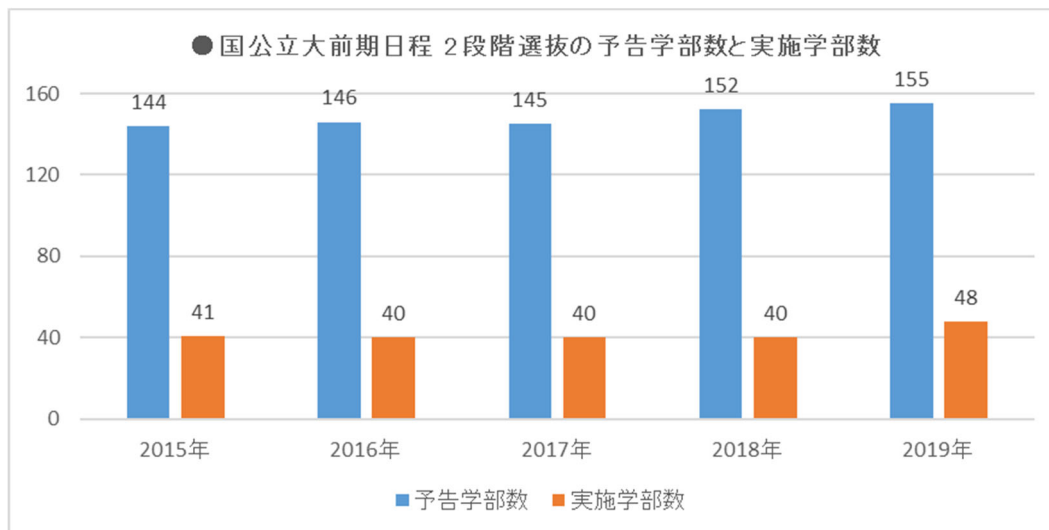
せっかく出願しても、セ試の得点不足で2次に進めない事態は避けたいもの。慎重になるのは当然だが、予告した大学・学部等が全て実施するわけではなく、実施しても全てが予告倍率通りに行うわけでもない。

前期日程における、過去5年間の予告学部数と実施学部数を比較すると、実際に2段階選抜を行った学部数は、予告学部数の2～3割程度であることがわかる(19年は62大学155学部等の予告に対し、実施したのは28大学48学部等)。後期・中期では3～4割程度(表中、20年の実施大学・学部等を**太字**で表示)。予告倍率を見てあきらめる受験生が多く、難関大や医学科では高学力層の少数激戦となるからだ。

また、19年の前期日程における第1段階不合格者は計3,660人で、18年に比べ590人増えたが、それでも仮に予告倍率通りに行った場合の約85%であった。過去5年間の平均

でも、前期は約8割、後期・中期は約5割に留まる。

21年「新入試」を直前に控え、“超安全志向”になるのは仕方がないとはいえ、2段階選抜を過度に恐れ、慎重になりすぎると、志望校が限定されてしまう。勇気をもって、なおかつ冷静に過去の実施状況や、自己採点集計の2段階選抜の予想ラインなどを検討して判断する、「正しく恐れる」姿勢が大切だ。



(注) 文部科学省「国公立大学2段階選抜実施状況の概要(前期日程分)」による。

## 2020年国公立大入試／2段階選抜実施予定大学・学部一覧

【表の見方: 共通】①「日程」欄で、「前」=前期日程、「後」=後期日程、「中」=公立大中期日程の略。②「学部(学科)等」欄の太字は、前年(2019年)に2段階選抜を実際に行ったことを示す。③「学部(学科)等」欄の★印は、新規実施する大学・学部等を示す。④「予告倍率」欄の倍率は、募集人員の何倍まで第1段階合格者とするかを示す。⑤「前年比較」欄は予告倍率を19年と比較したもので、「◎」=廃止、「○」=予告倍率を緩和、「▼」=予告倍率引き締め、「※」=基準の変更、「-」=変更なしを示す。

大学	日程	学部(学科)等	20年入試 予告倍率	19年入試 予告倍率	前年 比較
<b>北海道・東北</b>					
北海道大	前	総合入試(文系・理系)(注)	4倍	4倍	-
	前	文・教育・法・経済・水産	4倍	4倍	-
	前	医(医)	3.5倍	3.5倍	-
	前	医(保健)	5倍	5倍	-
	前	歯・獣医	6倍	6倍	-
	後	文・法・理・医(保健)・歯・薬・農・獣医・水産	6倍	6倍	-
旭川医科大	後	教育・経済	10倍	10倍	-
	前	医(医・看護)	10倍	10倍	-
弘前大	後	医(医・看護)	10倍	10倍	-
	前	医(医)	8倍	8倍	-
東北大	前	文・教育	約4倍	約4倍	-
	前	医(医・保健)	約3倍	約3倍	-
	前	法・経済(文系)・理・薬・農	約4倍	約4倍	-
	前	経済(理系)★	約4倍	(新規)	
	前	工	約3.5倍	約3.5倍	-
	前	歯	約4倍	約4倍	-
	後	経済(文系)	約15倍	約15倍	-
	後	経済(理系)★	約15倍	(新規)	
秋田大	後	理	約20倍	約20倍	-
	前	医(医)	5倍	5倍	-
山形大	後	医(医)	10倍	7倍	○
	前	医(医)	約5倍	約4.5倍	○
公立千歳科学技術大	後	医(医)	約10倍	約10倍	-
	中	理工★	10倍	(新規)	
札幌医科大	前	医	5倍	5倍	-
	前	保健医療	3倍	3倍	-
福島県立医科大	前	医	約4倍	約5倍	▼

(注) 北海道大・理・薬・工・農の前期は「総合入試のみ」で実施。その他の学部は、学部別入試も前期で実施。

関東・甲信越					
筑波大(注1)	前	国際総合、生物資源、理工学群	約5倍	約5倍	—
	前	医	約2.5倍	約2.5倍	—
	前	社会	約7倍	約7倍	—
	前	人間学群、看護、医療科学	約4倍	約4倍	—
	前	体育専門学群	約3倍	約3倍	—
	後	生物資源	約8倍	約8倍	—
群馬大	後	応用理工、工学システム、社会工	約10倍	約10倍	—
	前	医(医)	約3倍	約3倍	—
千葉大	前	国際教養(特色型)	4倍	4倍	—
	前	法政経	約3.5倍	約3.5倍	—
	前	医	3倍	3倍	—
	後	法政経	13倍	13倍	—
	後	医	7倍	7倍	—
	前	文1・文2・文3	約3倍	約3倍	—
東京大	前	理1	約2.5倍	約2.5倍	—
	前	理2	約3.5倍	約3.5倍	—
	前	理3	約3.5倍	約3.5倍	—
	前	医(医)・歯(歯)	約4倍	約4倍	—
東京医科歯科大	後	医(医)	約12倍	約12倍	—
	後	歯(歯)	約6倍	約6倍	—
	前	理、物質理工、情報理工、生命理工、環境・社会理工	(注2)	(注2)	—
東京工業大	後	生命理工	約10倍	約10倍	—
	前	文教育・生活科学・理	約6倍	約6倍	—
お茶の水女子大	後	文教育・生活科学・理(数学・生物・情報科学)	約10倍	約10倍	—
	前	法・経済・商・社会	約3倍	約3倍	—
一橋大	後	経済	約6倍	約6倍	—
	前	経済	約7倍	約7倍	—
横浜国立大	後	経済	約12倍	約12倍	—
	後	経営	約8倍	約8倍	—
	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
新潟大	後	医(医)	約10倍	約10倍	—
山梨大	前	医(医)	5倍	5倍	—
信州大	前	医(医)	5倍	5倍	—
茨城県立医療大	前	保健医療	—	5倍	◎
	後	保健医療	—	15倍	◎
埼玉県立大	前	保健医療福祉	5倍	5倍	—
千葉県立保健医療大	前	健康科学	3倍	3倍	—
首都大学東京	前	人文社会・法・経済経営・理・都市環境・システムデザイン	約6倍	約6倍	—
	前	健康福祉	約5倍	約5倍	—
	後	人文社会・経済経営・理・都市環境・システムデザイン・健康福祉	約14倍	約14倍	—
神奈川県立保健福祉大	前	保健福祉	6倍	6倍	—
横浜市立大	前	医(医)	約3倍	約3倍	—
	後	データサイエンス	約20倍	約20倍	—

(注1)筑波大の場合、学群以外の名称は「学類」を略。医学類のうち、地域枠は2段階選抜を行なわない。/(注2)東京工業大の前期は基準点を設ける(セ試950点満点中600点。英語リスニング免除者と英語以外の外国語選択者は外国語200点を250点に換算)。基準点未満の場合は出願不可。表中、名称から「学院」を略。

北陸・東海					
富山大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約15倍	約15倍	—
金沢大	前	医薬保健(医)	3倍程度	3.5倍程度	▼
福井大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約7倍	約7倍	—
岐阜大	前	医(医)	約15倍	約15倍	—
	後	医(医)	約15倍	約15倍	—
浜松医科大	前	医(医)	4倍	4倍	—
	後	医(医)	10倍	10倍	—
名古屋大	前	医(医)	—	約3.5倍	◎
	後	医(医)	セ試900点満点中720点以上		—
名古屋工業大	前	工1部(創造工学教育課程)	約4倍	約4倍	—
	後	工1部(創造工学教育課程)	約8倍	約8倍	—
三重大	前	医(医)	5倍	5倍	—
	後	医(医)	10倍	10倍	—
富山県立大	前	看護	6倍	6倍	—
静岡県立大	前	看護	4倍	4倍	—
	後	経営情報	5倍	5倍	—
	中	薬	16倍	16倍	—
愛知県立大	前	外国語・日本文化・教育福祉・情報科学・看護	8倍	8倍	—
	後	情報科学	8倍	8倍	—
名古屋市立大	前	医	セ試500点満点中375点以上		—

関西

滋賀医科大	前	医(医・看護)	約4倍	約7倍	▼
京都市大	前	総合人間(文系・理系)・文・教育(文系・理系)・法・経済(文系・理系)・医(人間健康科学)・薬・農	約3.5倍	約3.5倍	—
	前	理	七試900点満点中 630点以上		—
	前	工	約3倍	約3倍	—
	前	医(医)	七試900点満点中 630点以上で約3倍		—
	後	法(注1)	約15倍	約15倍	—
	大阪大	前	外国語	約2.3倍(注2)	約2.3倍(注2)
前		理・工・基礎工	約3倍	約3倍	—
前		薬	約4倍	約4倍	—
前		医(医)(注3)	七試900点満点中 630点以上で約3倍		○
神戸大	前	文・国際人間科学・法・経済・経営・理・工・農	約4.5倍	約4.5倍	—
	前	医(医)	七試900点満点中 650点以上		—
	前	医(保健)	約6倍	約6倍	—
	前	海事科学	約5倍	約5倍	—
	後	文・国際人間科学・法・理・工・医(保健)・農・海事科学	約10倍	約10倍	—
京都府立医科大	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
大阪市立大	前	医(看護)	約5倍	約5倍	—
	前	文・法・経済・商・理・工・生活科学・医(看護)	6倍	6倍	—
	前	医(医)	七試900点満点中 650点以上		—
	後	文・理・工(化学バイオ工以外)	17倍	17倍	—
大阪府立大	後	工(化学バイオ工)	10倍	10倍	—
	後	法	14倍	14倍	—
	中	工学域	12倍	12倍	—
兵庫県立大	前	国際商経	4倍	4倍	—
	中	社会情報科学	15倍	15倍	—
奈良県立医科大	前	医(医)	15倍	15倍	—
	前	医(看護=一般枠)	5倍	5倍	—
	前	医(看護=地域枠)	10倍	10倍	—
	後	医(医)	14倍	14倍	—
和歌山県立医科大	前	医	3.3倍	3.3倍	—
	前	保健看護	5倍	5倍	—
	後	保健看護	10倍	10倍	—

(注1)京都市大-法の後期は「特色入試」として実施。/(注2)大阪大-外国語は、学部全体で予告倍率を超えた場合で、かつ予告倍率を超えた専攻のみ実施。/(注3)大阪大-医(医)の前期は、基準点を720点→630点に下げ、予告倍率を約2.6倍→約3倍に緩和。

中国・四国

島根大	前	医(医)	約8倍	約8倍	—
	後	人間科学	約16倍	約16倍	—
岡山大	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
広島大	前	医(医)	7倍	7倍	—
山口大	前	医(医)	7倍	7倍	—
	後	医(医)	15倍	15倍	—
徳島大	前	医(医)	七試900点満点中 600点以上で5倍		—
	前	歯(歯)	10倍	10倍	—
	前	薬(薬)	10倍	10倍	—
	後	歯(歯)	15倍	15倍	—
香川大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	前	医(臨床心理)	約6倍	約6倍	—
	後	医(医)	約12倍	約12倍	—
愛媛大	前	医(医)	約6倍	約6倍	—
	後	医(医)	約20倍	約20倍	—
高知大	前	医(医)	4倍	4倍	—

## 九州

九州大	前	共創・文・教育・法・経済・理・工・医(保健)・農・芸術工	約4倍	約4倍	—
	前	医(医)	約2.5倍	約4倍	▼
	前	歯・医(生命科学)	約6倍	約6倍	—
	後	文	約5倍	約5倍	—
	後	法・経済・農	約7倍	約7倍	—
	後	理・工・薬	約10倍	約10倍	—
佐賀大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約10倍	約10倍	—
長崎大	前	多文化社会(注)	セ試の外国語の 得点率80%以上		—
	後	多文化社会(注)	セ試の外国語の 得点率85%以上		—
	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	前	水産	セ試900点満点中 450点以上		—
	後	歯★	約20倍	(新規)	—
	後	薬(薬)	セ試600点満点中 480点以上		—
熊本大	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
大分大	前	医(医)	約3倍	約3倍	—
	前	医(看護)	約6倍	約6倍	—
	前	福祉健康科学	約3倍	約3倍	—
	後	医(看護)	約7倍	約7倍	—
	後	福祉健康科学	約10倍	約10倍	—
	宮崎大	前	医(医)	約6倍	約6倍
	後	医(医)	約10倍	約10倍	—
鹿児島大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約8倍	約8倍	—
琉球大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約10倍	約5倍	○
九州歯科大	前	歯(歯)	約5倍	約5倍	—

(注)長崎大-多文化社会では、前期は「セ試の外国語75%以上、かつ外国語以外の3教科3または4科目の得点率75%以上」、後期は「セ試の外国語80%以上、かつ外国語以外の2教科2科目の得点率80%以上」でも第1段階選抜の合格とする。